

よりよい生協づくりのために

2023年度 組合員アンケート報告

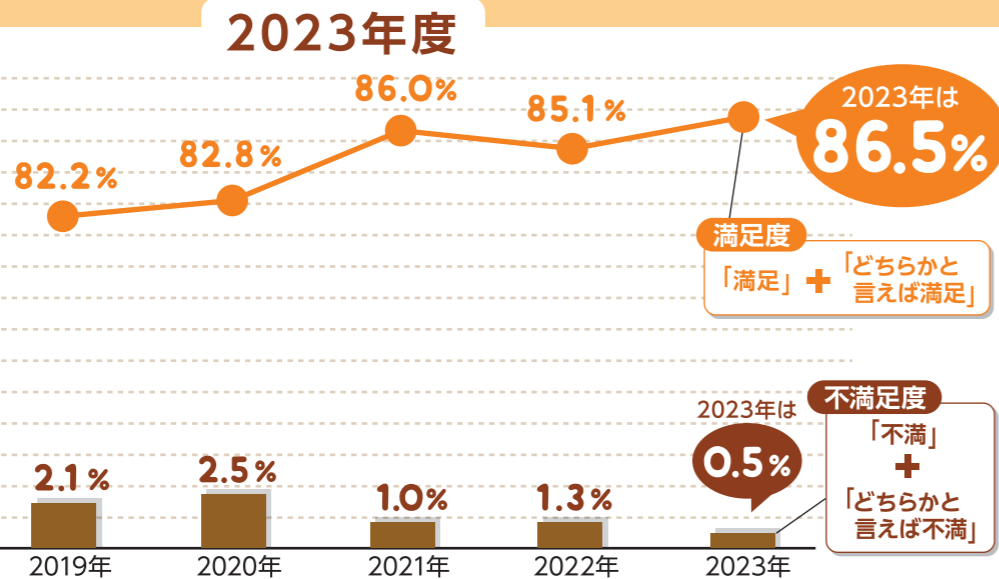


よどがわ市民生協では、毎年「生協」「商品」「しくみ」「配送担当者」「コールセンター」について組合員にアンケートを実施しています。今後の改善点を明らかにし、今後の事業・経営にいかします。(3,000人の組合員を対象に2023年6月実施。回収率30.8%)



生協への満足度

現在、よどがわ市民生協に加入されて満足していますか？



2023年度の傾向

商品の満足度

2022年 80.2% → 2023年 82.9%

今回も過去最高の満足度になりました。「安全性」「利便性」は今回も満足度が最上位となりました。満足度が低い理由として、昨年と同じく「価格」が最上位となりました。



配送担当者の満足度

2022年 80.7% → 2023年 81.6%

昨年を上回る80%台を維持しました。「あいさつ」「会話・言葉づかい」「商品の取り扱い」の満足度が高い理由として多くあげられました。ただ、「会話・言葉づかい」「商品の取り扱い」は満足度が低い理由としてあげられる場合もあり、配送担当者の満足度を決める重要ポイントになっていると考えられます。



しくみの満足度

2022年 77.3% → 2023年 79.7%

「商品のお届け状態」が今回も満足度が高く、次に「週1回の配送」が続く結果となりました。満足度が低い理由として「個配管理手数料」が多く挙げられました。満足度の高い・低い理由は、昨年度から大きな変化はない状況です。

コールセンターの満足度

2022年 75.3% → 2023年 70.0%

今回も「会話・言葉づかい」「対応の迅速さ」が、満足度が高い理由となりました。一方、「つながりやすさ」「会話・言葉づかい」については、満足度の低い理由として昨年よりも増加しました。「対応の内容」も今回も満足度が低く、全体的に重要な課題が多くなっています。



よどがわ市民生協に取り組んで欲しい社会的な問題

- 1位 食の安全 63.7%
- 2位 食品ロス 62.0%
- 3位 食料自給率の低下 31.9%

年代別に見ると、「食の安全」は50～70代で、「食品ロス」は20～60代で多く挙げられました。



2023年度組合員アンケートの結果をもとに今後の課題をまとめ、さらなる改善に取り組みます。

よどまるレポート

019 介護食・健康管理食

からだに寄り添った食事を家庭でも

よどがわ市民生協では、健康を管理する食事宅配サービスをしています。健康面に寄り添った『やわらか普通食』『きざみ食』『ムース食』『カロリー調整食』『たんぱく調整食』など、家庭では病院や施設のような食事は難しく、家族の負担を軽くできるように、特に忙しい平日をサポートしています。

ぜひ!

ご興味のある組合員さんは、夕食サポート(0120-580-451 月～金 9～19時) お問い合わせください!

毎週土曜日に宅配便でお届けします

毎週土曜日に月～金曜日の5日分をまとめてヤマト運輸クール宅急便、にてお届けします。1つずつ袋になっています。冷蔵庫で保管してください。各袋に食べ方が記載してあります。「温め可」のものは湯せんまたは電子レンジで温めてください。サラダ・和え物はそのままお皿に盛り付けるだけになっています。

利用者の声

- 夫は腎臓が悪く、私が作っていたのですが、カリウムの調整が大変。また、同居している母親の介護食も作っており、忙しく大変だったので利用しました。とても助かっています。
- 肝臓が悪く、病院では1日たんぱく質60g前後の調整食を食べていました。退院後、自分で同じように作るの難しく、夕食弁当の利用を希望したところ『たんぱく調整食』を知りました。利用してからは、体調も良く、調整してくれているので助かっています。

地域とともに

今回は...

よどがわ市民生協が食材提供をしている団体紹介
団体名: [TOTTOひめじまこども食堂]
活動場所 姫島診療所内 はっぴいハウス
連絡先 080-4200-8981



安心して食事や遊びを

2017年2月に「地域の子どもたちが安心して食事や遊びを楽しめる居場所を作りたい」と、姫島診療所や地域の賛同を得て、姫島診療所内に遊び場を作りました。笑顔いっぱいのこどもの姿から、食事を提供しようとして『こども食堂』がスタートしました。

TOTTOは子どもたちが「とっとと」と近づいてくる足音から名付けました。コロナ禍前は、姫島福祉会館にて月1回土曜日に開催し、毎回100人を超す参加があり、1階で食事、2階は食事前後の過ごし場所や親子の憩いの場所でした。スタッフは、子どもたちの悩みや子育ての相談にも寄り添っています。



しかしコロナ禍となり、福祉会館が利用できなくなり、余儀なく中止となりました。子どもたちの現状から会食でなくなり、月2回土曜日にお弁当を作って配食する方法に切り替えました。

コミュニケーションを大切に

その後、コロナ禍が一段と厳しくなり、お弁当を作ることもままならず、お弁当を購入しての配食となり

ましたが財政的に続かず、再度『安全・衛生・換気』に気をつけて、お弁当作りを再開。さらに奇



数月には子どもたちと「手作り体験&カフェ」に取り組み、陶芸やクリスマスリースなどの手作りを楽しんでいます。

同時に「ひめじまこども食堂を支える会」を立ち上げ、寄付を募って運営

しています。食材や物資などは様々な企業・団体・個人から提供を受け、府や市からの物資、その他企業・市区社協等助成金などにも支えられています。財政的に継続して運営していくのが大変厳しい現状です。

みなさんに知ってほしい・伝えてほしい

私たちは「こども食堂に来るこどもや保護者の声に耳を傾け、心に寄り添いながらできることを支援していく。【誰かたすけて!】と声をあげられない人たちにも思いを寄せて、個別に支援も行っていく」を大切にしています。少し気になる子・家庭があれば近くに相談できる人にお伝えください。

こんなところにこども食堂あるよ!行ってみたら!と伝えてあげてください。

よどまる応援基金のご案内

子ども食堂などへ安定的に食材を提供するため募金にご協力ください。
※この募金は所得税の寄付金控除の対象となりません。

募金方法 注文書の4ケタ・6ケタ注文欄「001419」に個数(100円単位)を記入。インターネット注文「eフレンズ」でも募金できます。

